

本庄高校基本計画

平成22年12月

埼玉県教育委員会

目 次

1	県教育委員会の基本姿勢	1
2	新校の基本的枠組み	
	(1) 新校の設置など	
	(2) 設置場所	
	(3) 課程・学科など	
	(4) 学校規模	
	(5) 開校予定年度など	
3	新校の校名	
4	新校の基本理念	2
	(1) 目指す学校像	
	(2) 育てたい生徒像	
5	新校の教育活動などの基本方針	
	(1) 基本姿勢	
	(2) 教科指導	
	(3) 生徒指導	
	(4) 進路指導	
	(5) 生徒募集	
6	教育活動などの基本方針の具現化	
	(1) 教科指導	
	(2) 生徒指導	3
	(3) 進路指導	
	(4) 生徒募集	
	(5) その他	
7	開校準備	
	(1) 施設・設備の整備など	
	(2) 公文書などの保管及び諸証明書の発行	
	(3) 生徒募集及び入学者選抜	
	(4) 制服など	
8	対象校における教育活動	
9	新校の教育環境の整備	4
10	付随する事項	
	(1) 跡地の利活用	
	(2) 同窓会及び後援会	
	(3) 対象校が保管する物品などの保存	
〔参考資料〕		
資料1	新校準備委員会設置要綱（委員名簿を含む。）	5
資料2	新校基本計画検討委員会設置要綱（委員名簿を含む。）	8
資料3	本庄高校準備委員会及び本庄高校基本計画検討委員会の開催状況	11
資料4	本庄高校準備委員会でいただいた主な意見等	13

県立高等学校の後期再編整備計画（以下「計画」という。）に基づき、次のとおり、新たな高校を設置する。

1 県教育委員会の基本姿勢

新校基本計画の策定に当たっては、教育局及び対象校の教職員により構成する基本計画検討委員会において検討するとともに、地元関係者や学校関係者の御協力を得て、新校準備委員会を設置し、様々な観点から御意見などをいただいた。

県教育委員会は、いただいた御意見や、対象校が統合に至った事実を重く受け止め、次のとおり、県立高校の再編整備に取り組む。

- (1) 県立高校の再編整備は、中学校卒業生が減少する中で、県立高校の活性化・特色化を図る教育行政上の重要施策であり、新校の設置に当たっては、教育環境の整備に重点的に取り組む。
- (2) 校長は、新校が組織としての機能を十分に発揮するよう、主導的に学校の管理・運営に取り組む。
- (3) 新校の管理・運営に当たっては、校長をはじめとする教職員の意識改革が求められている。教職員は、経営感覚をもって、生徒や保護者のニーズを的確に把握し、積極的に教育活動を展開するとともに、新校の活動を地域に公開していく。

2 新校の基本的枠組み

(1) 新校の設置など

本庄高校と本庄北高校（以下「対象校」という。）を統合し、新たな高校を設置する。

(2) 設置場所

本庄市柏1丁目4番1号（現 本庄高校）に設置する。

(3) 課程・学科など

全日制課程の普通科とし、単位制を導入する。

定時制課程については、現行どおりとする。

(4) 学校規模

全日制課程は、各年次320人、合計960人の規模とする。

(5) 開校予定年度など

平成25年度とする。

本庄北高校は平成23年度から生徒募集を停止する。

3 新校の校名

新校が同一市町村内の統合で、かつ課程・学科に変更がないことから、設置校である本庄高校の名称を継承する。

4 新校の基本理念

計画に定める再編整備の方針などを踏まえ、次のとおりとする。

(1) 目指す学校像

- ア 自主自律の精神を育み、知・徳・体の調和のとれた教育を行う学校
- イ 生徒・保護者の大学への進学希望にきめ細かく対応し、地域からの期待に応える学校
- ウ 地域に開かれた、地域の学習・文化の拠点となる学校

(2) 育てたい生徒像

- ア 向上心や探究心を持ち、高い目標に向かってチャレンジする生徒
- イ 基本的な生活習慣や集団の規律を身に付け、自ら考え、自ら行動できる生徒
- ウ 他者と協調・協同してよりよい社会を築くリーダーとなる生徒

5 新校の教育活動などの基本方針

新校の基本理念に基づき、次のとおり、教育活動などの基本方針を定める。

(1) 基本姿勢

生徒一人一人の大学への進学希望に応じた丁寧な指導を行い、変化の激しい時代を先駆するリーダーにふさわしい、調和のとれた全人教育を実践する。

(2) 教科指導

- ア 基礎的な学力とともに応用力や発展的な学力を身に付けさせる。
- イ 大学への進学希望を実現するために、単位制の特長を生かした、柔軟な教育課程を編成する。
- ウ 高い志を持ち、自らが主体的に物事を探究する姿勢を育成する。

(3) 生徒指導

- ア 規律ある態度や主体的に行動できる態度を育成する。
- イ 生徒理解に基づき、個に応じた適切な指導を行う教育相談体制を確立する。
- ウ 社会参加の意識を高め、人権尊重、協調の精神や奉仕の心をはぐくむ。

(4) 進路指導

- ア 生徒が自らの在り方・生き方を考え、高い目標に向かってチャレンジできるよう組織的・計画的なキャリア教育を推進する。
- イ 生徒一人一人にきめ細かい指導を組織的・計画的に行って、それぞれの能力・適性を伸長できる大学への進学を実現する。

(5) 生徒募集

- ア 進学に対する目的意識の高い生徒が関心を持てるようPRする。
- イ 地元の小学校・中学校との交流を深め、新しい学校に関する理解を深められるよう、積極的に情報を発信する。

6 教育活動などの基本方針の具現化

教育活動などの基本方針に基づき、今後、次のとおり検討する。

(1) 教科指導

- ア 持続的な授業改善、習熟度別授業や少人数指導などを実施する。
- イ 大学進学に対応する学校設定科目を設け、大学の講座の受講を推奨する。

ウ 大学、企業、研究機関などとの連携を図り、自ら課題を見つけ自ら課題を解決できる力を身に付けさせる。

(2) 生徒指導

ア 教育活動を通じて「時を守り、場を清め、礼を正す」指導により、自律心を養う。

イ カウンセラーや専門機関と連携して、情報を共有できるよう、組織的な教育相談体制を整える。

ウ 人権教育の推進、社会体験、地域活動、ボランティア活動への積極的な参加により、社会性や協調性を養う。

(3) 進路指導

ア 大学卒業後の将来を見据え、卒業生や地域の人材を活用した進路講演会やインターンシップ、大学の講座体験などを実施する。

イ 3年間を通じて進路指導部と各教科、担任団が連携し、入学直後の進路オリエンテーションや科目選択、志望校選択の指導などを行う。

(4) 生徒募集

ア 全教員による計画的な中学校訪問、公開授業、体験授業、中学校への出前授業などを実施する。

イ 施設設備を活用した公開講座、生徒による小学校・中学校での教科指導、クラブ活動指導の手助けなどを実施する。また、学校だよりやホームページなどで定期的に情報提供を行う。

(5) その他

制服を導入する。

7 開校準備

(1) 施設・設備の整備など

本庄高校の施設・設備の有効活用を基本に、必要な改修や整備に努める。整備期間は平成24年度から平成26年度までを目途とする。

対象校の備品などについては、原則として、新校に引き継ぐものとし、保管転換の事務や移動作業、配置などについては、対象校が協力して行う。

(2) 公文書などの保管及び諸証明書の発行

対象校が保管する公文書などについては、新校が引き継ぐ。統合後の各種証明書の発行は新校が行う。

(3) 生徒募集及び入学者選抜

生徒募集活動や入学者選抜の事務は、本庄高校が中心となり、本庄北高校が全面的に協力して行う。

(4) 制服など

制服などについては、今後、新校の準備を進める中で検討する。

8 対象校における教育活動

対象校においては、生徒募集の停止後においても、在校生に教育上の支障が生じることがないように、また、不利益が及ぶことがないように配慮する。

9 新校の教育環境の整備

県立高校の再編整備を積極的に推進する見地から、新校の教育環境の整備に努める。教職員などの人事や定数、教育課程の編成、単位の認定などについては、現行制度に照らしつつ、再編整備に伴う活性化・特色化を進める方向で前向きに検討し、また、施設・設備の整備については、必要な予算の確保に努める。

10 付随する事項

(1) 跡地の利活用

本庄北高校の設置や管理運営に当たっては、本庄市など関係者に多大な御協力をいただいていた。県教育委員会においては、これらの経緯を踏まえ、今後の利活用を検討する。

(2) 同窓会及び後援会

今後、対象校の同窓会及び後援会で検討する。

(3) 対象校が保管する物品などの保存

対象校が保管する校旗や卒業記念品、記念誌などの取扱いについては、今後、関係者の意見を伺いながら検討する。

新校準備委員会設置要綱

新校準備委員会設置要綱（平成 19 年 3 月 26 日教育長決裁）の全部を改正する。

（設置）

第 1 条 県立高等学校の後期再編整備計画（以下「後期計画」という。）に基づき、新たに設置する高校（以下「新校」という。）の円滑な開校を期するため、新校準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、別表第 1 に掲げる新校ごとにそれぞれ設置するものとする。

（所掌事務）

第 2 条 委員会は次の事項について委員から意見等を聴取する。

一 新校基本計画に関すること。

二 新校の校名に関すること（豊岡高校準備委員会及び本庄高校準備委員会を除く。）。

三 前二号のほか新校の開設準備に関すること。

（委員）

第 3 条 委員会の委員は、別表第 2 に掲げる者の中から教育長が依頼又は任命する。

（委員長及び副委員長）

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、別表第 3 に掲げる職にある者をもって充てる。

3 委員長は会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する副委員長が、その職務を代理する。

（会議）

第 5 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

（会議の公開）

第 6 条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の 3 分の 2 以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

（設置期間）

第 7 条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成 24 年 3 月 31 日までとする。

（委員会の庶務）

第 8 条 委員会の庶務は、埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課において処理する。

（委任）

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 27 日から施行する。

別表第 1

幸手新校準備委員会
大井新校準備委員会
豊岡高校準備委員会
本庄高校準備委員会
吉川新校準備委員会

別表第 2

地元関係者	行政関係者
	教育関係者
	産業関係者
学校関係者	地元中学校長
	再編整備対象校 P T A 等関係者
県教育委員会	高校改革推進課を所管する県立学校部副部長 県立学校部高校改革推進課長 後期計画に掲げる対象校校長

別表第 3

	委員会名	委員長	副委員長
1	幸手新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	幸手商業高校長 幸手高校長
2	大井新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	大井高校長 福岡高校長
3	豊岡高校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	豊岡高校長 入間高校長
4	本庄高校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	本庄高校長 本庄北高校長
5	吉川新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	吉川高校長 草加高校長

本庄高校準備委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長	浅子 藤郎	埼玉県教育局県立学校部副部長
副委員長	佐東 雄二	埼玉県立本庄高等学校長
副委員長	小暮 通佳	埼玉県立本庄北高等学校長
委員	関口 博美	本庄市企画財政部企画課長
委員	齊藤 雅男	本庄市教育委員会学校教育課長
委員	鈴木 道也	埼玉大学教育学部准教授
委員	友成 真一	早稻田大学社会連携研究所所長
委員	富丘 敦	本庄市立本庄南中学校長
委員	入澤 良	埼玉県立本庄高等学校後援会会長
委員	諏訪 秀一	埼玉県立本庄高等学校同窓会会長
委員	根岸 良征	埼玉県立本庄北高等学校後援会会長
委員	柿沢 寛明	埼玉県立本庄北高等学校同窓会会長
委員	大浜 厚夫	埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課長

新校基本計画検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 県立高等学校の後期再編整備計画（以下「後期計画」という。）に基づき、新たに設置される高校（以下「新校」という。）の基本計画を検討するため、新校基本計画検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、別表第1に掲げる新校ごとにそれぞれ設置し、その職務は同表に掲げるとおりとする。

(委員)

第2条 委員会の委員は、埼玉県教育局職員及び後期計画に掲げる対象校の教職員の中から教育長が任命する。

(委員長及び副委員長)

第3条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する副委員長が、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第5条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

(設置期間)

第6条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成23年3月31日までとする。

(委員会の庶務)

第7条 委員会の庶務は、埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は平成22年4月5日から施行する。

別表第1

	委員会名	職務
1	幸手新校基本計画検討委員会	幸手商業高校及び幸手高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
2	大井新校基本計画検討委員会	大井高校及び福岡高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
3	豊岡高校基本計画検討委員会	豊岡高校及び入間高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
4	本庄高校基本計画検討委員会	本庄高校及び本庄北高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
5	吉川新校基本計画検討委員会	吉川高校及び草加高校定時制課程の統合に関する新校基本計画について検討すること。

別表第2

	委員会名	委員長	副委員長
1	幸手新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	幸手商業高校教頭 幸手高校教頭
2	大井新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	大井高校教頭 福岡高校教頭
3	豊岡高校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	豊岡高校教頭 入間高校教頭
4	本庄高校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	本庄高校教頭 本庄北高校教頭
5	吉川新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	吉川高校教頭(全・ 定) 草加高校教頭(定)

本庄高校基本計画検討委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長	渡邊 秀昭	県立学校部副参事兼高校改革推進課副課長
副委員長	中村 篤	本庄高等学校教頭兼高校改革推進課主任管理主事
副委員長	若林 伸一	本庄北高等学校教頭
副委員長	新井 文雄	本庄高等学校事務部長
委員	中山 恵司	本庄高等学校主幹教諭 (教務主任)
委員	野口 賢次	本庄高等学校教諭 (進路指導主事)
委員	戸井田 猛	本庄高等学校教諭 (生徒指導主任)
委員	守屋 淑美	本庄北高等学校主幹教諭 (教務主任)
委員	月岡 幸子	本庄北高等学校教諭 (進路指導主事)
委員	小島 光正	本庄北高等学校教諭 (生徒指導主任)
委員	岡部 年男	財務課主幹 (総務・予算総括担当)
委員	市川 雅之	財務課主査 (施設計画・資産活用担当)
委員	田中 邦典	県立学校人事課管理主事 (教員人事担当)
委員	平井 利久	県立学校人事課管理主事 (学事担当)
委員	鈴木 雅道	高校教育指導課指導主事 (教育指導担当)
委員	伊藤 孝人	生徒指導課指導主事 (総務・登校支援・心の教育担当)
委員	安藤 龍嗣	高校改革推進課主任管理主事 (改革推進担当)
委員	我妻 英	高校改革推進課管理主事 (改革推進担当)
委員	堀米 俊孝	高校改革推進課主幹 (改革管理担当)
委員	小林 篤弘	高校改革推進課主査 (改革管理担当)

本庄高校準備委員会 開催状況

第1回	平成22年 6月11日(金) 10:00~11:30	本庄市役所
(1) 再編整備計画概要説明 (2) 再編対象校概要説明 (3) 本庄高校基本計画の構成及び内容 (4) 第1回本庄高校基本計画検討委員会について		
第2回	平成22年 7月 9日(金) 15:00~16:40	本庄高校
(1) 第2回本庄高校基本計画検討委員会について (2) 本庄高校基本計画(案)について		
第3回	平成22年 9月 6日(月) 15:00~16:30	本庄高校
(1) 第3回本庄高校基本計画検討委員会について (2) 本庄高校基本計画(案)について		
第4回	平成22年11月10日(水) 15:00~15:35	本庄高校
(1) 第4回本庄高校基本計画検討委員会について (2) 本庄高校基本計画(案)について		

本庄高校基本計画検討委員会 開催状況

第1回	平成22年 5月31日(月) 15:00~16:30	本庄高校
(1) 各対象校で出された意見について (2) 次回までの作業について		
第2回	平成22年 6月29日(火) 15:00~16:30	本庄高校
(1) 新校基本計画案のたたき台について (2) 次回までの作業について		
第3回	平成22年 8月23日(月) 15:00~16:30	本庄高校
(1) 新校準備委員会 第2回会議の報告 (2) 新校基本計画案について		
第4回	平成22年 9月24日(金) 15:00~16:30	本庄高校
(1) 新校準備委員会 第3回会議の報告 (2) 新校基本計画案について (3) 開設準備組織について		

本庄高校準備委員会でいただいた主な意見等

○……意見及び質疑等 ●……応答等

第 1 回本庄高校準備委員会（平成 22 年 6 月 11 日(金)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
本庄高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 25年度に、新たな本庄高校に1年生が入学し、3年かけて、新しい高校の全システムが完成するという理解で良いのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 単位制は、25年度に新しく入学した生徒から適用され、その生徒が3年次生になったときに、生徒全員が単位制のカリキュラムを受けることとなる。本庄高校では、単位制高校としてのスタートを視野に入れて、現在のカリキュラムを工夫している。従って、25年4月において、新入生と2・3年生のカリキュラムが全く異なるということにはならないと思う。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 単位制の利点は学年の壁を越えて、多様な科目を学べることにあると思う。25年度は1年生だけが単位制であるが、3年後には全学年に単位制が導入されて、1・2・3年生が一緒に学ぶという形で完成するのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● そのとおりである。年次を越えて科目選択することも可能なシステムである。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 全体的イメージとして、地域を引っ張る次世代のリーダーを育てるような方向性がある欲しい。 単位制をもっとアピールしていかないといけない。新しく単位制高校になったけれども、結局、従来とあまり変わらないというのでは、委員になった意味がない。 宣伝段階から、子ども達が胸躍らせるような雰囲気を出して欲しい。</p>

第 2 回本庄高校準備委員会（平成 22 年 7 月 9 日(金)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
本庄高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「目指す学校像」に「自主自律の精神を育み」とあるが、具体的にどう進めていくのか。 また、進学重視型の単位制高校になると、学校としての「まとまり」がなくなることが懸念される。</p>

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「目指す学校像」に「知・徳・体の調和」とあるが、具体的にはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 様々な教育活動をとおして、自主自律の精神を育てていきたいと考えているが、その根幹は授業である。指導方法を工夫しながら、考えさせる授業をして、生徒が主体的に取り組む姿勢を育てていく。</p> <p>単位制になっても、クラスは今まで通りに存在するし、LHRもある。決して、まとまりがなくなるということはない。</p> <p>「知」は「教科指導」、「徳」は「生徒指導」に反映している。「体」は具体的な文言で表現していないが、文武両道を目指している。「知・徳・体」の調和のとれた、いわゆる「全人教育」をしていく。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 大学では、オープン科目といって、学部、学年を問わず受講できる選択科目がある。多様な人間と一緒に授業を受けることで「化学反応」が起きて面白いと思っている。新校でも1～3年生が自由に選択できる科目があってもいいと思う。</p> <p>基礎学力を身に付けさせる授業や、大学進学のための習熟度に応じた授業など、様々な授業を用意することになると思うが、開講する授業の割合など、現段階でイメージを持っているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● どのような授業に比重を置くのかは現段階では決まっていないが、生徒には、大学の授業についていけるだけの基礎学力は、必ず身に付けさせなければならないと考えている。</p> <p>御指摘の「オープン科目」のような授業を開講できるかどうかは、基本計画策定後、具体的に検討していきたい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「目指す学校像」にある「地域からの期待」とはどのようなものと捉えているのか。また、仮に必修科目が100%であれば単位制ではない。選択科目の割合はどれくらいを考えているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 地域からの期待には様々なものがあるだろうが、県北の中核となる進学校として、将来、県や国のリーダーとなるような生徒を育てていきたい。</p> <p>学ぶべき単位数は、学習指導要領に基づき決定することになる。一般的には、年次が上がるにつれて、選択科目の割合が増えていくことになる。現段階では選択科目の割合が何%とは言えないが、単位制の利点を最大限活かすべく、基本計画策定後に検討していく。</p>

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 性格がはっきりした新校をつくるべきであるが、進学校ということで、「合格実績のみ」を追求して行くと、生徒がバラバラになっていくと思う。教育者の立場として考えると、受験だけでいいのかという思いもある。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 受験指導のみの学校にはしない。あらゆる場を通じて人間を磨く、いわゆる「全人教育」を目指していく。教員が組織的に対応し、生徒が手応えを感じる授業を行っていく。進学重視ではあっても、学校行事等にも力を入れれば、生徒がバラバラになることは無いと考えている。</p> <p>進学だけに特化した学校をつくるわけではないことを御理解いただきたい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 「生徒指導の具現化」にある「時を守り、場を清め、礼を正す」という指導は、最近かなり徹底が図られていると感じている。生徒を誉め、自主的に規律を守るように導いていく教育が必要である。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 学校行事は、生徒が興味を持って取り組む結果、「クラス」を一体化する効果もある。昨今、学校行事に割く時間が減っているが、じっくり取り組んだらどうか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 学校行事にもバランス良く取り組む高校にしていきたい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 教員一人ひとりに対するケアやスキルアップも必要ではないか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 教員の力量、資質の向上は重要な課題である。教員も人間であり、当然悩みもある。組織的な対応でバックアップしていきたい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 新校の理念を実現するためには、教員の配置も考慮すべきである。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 制服の導入に賛成である。本庄高校は、制服を廃止した後、徐々に易きに流れてしまった印象がある。高校生の段階ではある程度の「しぼり」は必要である。</p> <p>20年先を見通し、生徒が着たくなる制服を作って欲しい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 生徒も制服があった方が楽だと思う。ただ、制服を導入して数年後に、生徒側から「制服を廃止して欲しい。」という議論が上がってくるようなら面白い。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 制服を自由化した当時、生徒は本気で議論したと思う。しかし、時間が経つとその経過も意味も忘れ去られ、事実だけが残る。時折、議論することも必要だと思う。</p>

第3回本庄高校準備委員会（平成22年9月6日(月)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
本庄高校基本計画（案）について	
委員	【意見及び質疑等】 ○ 選択科目の開講に当たって、受講希望人数の最低基準はあるのか。
事務局	【応答等】 ● 学校の事情によって異なるが、原則として、開講には10人以上の希望者を要する学校が多い。中には、生徒の進路希望などを勘案し、3人で開講している例もある。
委員	【意見及び質疑等】 ○ 選択科目について、例えば、2年次と3年次の生徒が、英語の「ライティング」や「リーディング」を一緒に履修するということが可能と考えて良いのか。
事務局	【応答等】 ● 時間割設定との兼ね合いがあるが、制度的には可能である。
委員	【意見及び質疑等】 ○ 「新校の教育環境の整備」について、施設・設備の整備はどうなるのか。
事務局	【応答等】 ● 現段階で具体的なことは申し上げられないが、新校に必要な施設・設備を整えるよう最大限努力する。
委員	【意見及び質疑等】 ○ 進路ガイダンスはどのように行っていくのか。
事務局	【応答等】 ● 通常の授業やLHR、「総合的な学習の時間」など、様々な教育活動を通じて、進路に関する指導を充実させていきたい。
委員	【意見及び質疑等】 ○ 新校が「リーダー」の育成を目指すのは大切なことではあるが、将来、全ての卒業生が「リーダー」と呼ぶに相応しい職業に就けるとは限らない。そのような状況の下、計画案の中で「リーダー」という言葉が強すぎるという印象を受ける。
事務局	【応答等】 ● 新校では、地域をリードしていく人材を育てたいと強く考えている。その願いを「変化の激しい時代を先駆するリーダー」という文言に込めた。 勿論、全員がリーダーになれるわけではないが、それくらいの気概を持って進めていくという意気込みを御理解いただきたい。

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「生徒指導の具現化」に「人権教育の推進」とあるが、現在でも行っているのか。</p> <p>また、「人権教育の推進、社会体験、地域活動、ボランティア活動への積極的な参加」とあるが、そのような活動は根本的に「部活動」と一緒ではないのか。「部活動」の文言がいらぬのではあれば、「人権教育」もいらぬと思う。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 本庄高校では、現在も人権教育に力を入れている。新校においても、生徒には社会のリーダーを目指す者として必要な人権感覚を身に付けさせたいと考えている。</p> <p>「部活動」については、現在でも活発に行われているので、敢えて基本計画に盛り込む必要はないと判断したものである。</p> <p>「人権教育の推進、社会体験、地域活動、ボランティア活動への積極的な参加」という文言には、新校において、このような活動を更に積極的に展開していきたいという思いを込めている。地域の活動への積極的な参加は、社会性や協調性を養う好機である。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>他校との差別化について、具体的な考えはあるのか。</p> <p>社会の仕組みとして、産業や仕事の概要、職業人として必要な能力など、様々な内容を生徒に伝える授業を展開できないか。単に視野が広がるだけでなく、自分自身を見つめる契機ともなり、社会の中で知識を活かせる人間に成長できると思う。</p> <p>周辺の地域とどのようにつながりを持つか、具体的な考えはあるのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 他校との差別化について、基本計画案には特に明記していない。今後の検討課題となるが、例えば授業時間の確保について、土曜授業の実施、一日7時限授業など、知恵を絞っていきたい。</p> <p>産業等に関する理解という点では、「進路指導の基本方針」の「キャリア教育を推進する」という表現に盛り込まれている。具体的には、大学卒業後を見据えながら、企業、官公庁や研究機関などでインターンシップを行わせたいと考えている。現場を体験することで、社会に対する関心を高め、進路意識を啓発していきたい。是非、地域にも協力をお願いしたい。</p> <p>周辺地域とのつながりについては、「生徒募集の基本方針」の「地元の小・中学校との交流」という表現に盛り込まれている。このほか、生徒の将来の進路を見据えて、地域の大学との連携を図りたい。大学での公開講座受講を単位認定することなども考えている。</p>

委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 小・中学校と交流して勉強などを教えることは、生徒が自分の足りない部分を自覚するきっかけとなり、とても大切である。地域社会に入ること、自分の目指す「キャリア」が明確になってくると思う。</p> <p>基本は勉強であるが、幅広い体験によって勉強に芯が通ってくる。「生徒指導」や「進路指導」に体験活動などが網羅してあることはとても大事なことだと思う。</p>
----	---

第4回本庄高校準備委員会（平成22年11月10日(水)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
本庄高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 本庄北高校の生徒が留年した場合はどうなるのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● まずは、原級留置にならないようにきめ細やかに指導することが原則である。この点に関しては、県立学校人事課から全県立高校に対して、「県立高等学校後期再編整備計画に伴う原級留置に係る生徒の指導及び転学等の取扱いについて」という通知を発している。</p> <p>原級留置する場合は、原則として、当該生徒は統合される高校に転学することになる。その際には、両校の校長が面談し、統合校へ転学する意思があるかどうかを確認する。また、他の高校へ転学する意思があれば、その高校を紹介することになる。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 「教育活動等の基本方針の具現化」に盛り込まれていることはいずれも重要なことであるが、これらを全て実現したとしても、新校が大きく変わった、特色のある高校になった、という印象が得られるだろうか。目玉となるものが必要な気がする。</p> <p>今後、細部を検討する中で、目玉となるようなものが出てくれたら良いと思う。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 他校との差別化を図り、新校の特色化を打ち出して欲しい。</p> <p>新校は、バリアフリー化を図り、障害を持った生徒を含めたすべての生徒を受け入れることのできるような学校にして欲しい。</p>

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 地域の中学生の間で、新しい本庄高校の姿が見えないという話が出ている。進路選択の参考にするため、新校の概要がわかる情報を流して欲しい。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 平成23年度の3年生から、単位制の趣旨を前倒しで取り入れていくこととしている。具体的には、幅広く選択科目を用意して、生徒の進路希望に応じた科目を選択できるようにするなど、新校の良さを先取りしていく。そのような趣旨を、学校説明会や中学校訪問においてお話ししている。</p> <p>新校の広報については、平成25年度入学となる、来年度の新中学2年生を対象に準備をしていく。</p> <p>この「基本計画」を策定した後、中学生や保護者にわかりやすい内容の広報をしていきたい。ホームページや広報紙で新校のPRをするほか、中学校に向いて新校の魅力を丁寧に説明していきたい。</p>